

会 議 記 録 (概 要)

会 議 名 : 第 3 回 三 田 市 市 民 生 活 部 指 定 候 補 者 選 定 委 員 会

日 時 : 平 成 3 0 年 9 月 1 8 日 (火) 9 時 1 0 分 から 1 2 時 3 0 分

場 所 : 三 田 市 役 所 3 0 2 A 会 議 室

出 席 者 : 馬 込 委 員 長、富 岡 副 委 員 長、畑 委 員、門 垣 委 員、入 江 委 員

事 務 局 等 : 川 田 市 民 文 化 室 長、横 溝 文 化 ス ポ ー ツ 課 長、中 井 文 化 ス ポ ー ツ 課 係 長、森 鼻
文 化 ス ポ ー ツ 課 係 長、鈴 木 文 化 ス ポ ー ツ 課 主 任

1 開 会

課 長 挨拶

2 審 査 方 法

本 日 の 委 員 会 は 原 則 公 開 で あ る た め プ レ ゼ ン 及 び ヒ ア リ ン グ 審 査 に つ い て は 公 開 と
す る が、前 回 の 指 定 候 補 者 選 定 委 員 会 で 確 認 し た と お り、情 報 公 開 条 例 第 7 条 第 5 項
の 規 定 に よ り 評 価 及 び 審 査 に つ い て は 非 公 開 と す る。

(プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン ・ ヒ ア リ ン グ 審 査 に つ い て 事 務 局 説 明 。)

3 プレゼンテーション・ヒアリング審査の実施

【三田市ガラス工芸館・応募団体からの提案】

NPO 法 人 グ ラ ス ク ラ フ ト 協 会

【質疑】

委 員 : 受 講 生 9 0 名 受 け 入 れ が 可 能 と い う の は、ハ ー ド 面 か ソ フ ト 面 で の ど ち ら に あ た
る の か。

団 体 : 両 方 で あ る。

委 員 : ハ ー ド 面 に お け る 耐 久 性 は 大 丈 夫 な の か。

団 体 : 年 に 2 回 メ ン テ ナ ン ス を 実 施 し て い る。

委 員 : 現 指 定 管 理 者 の ケ ン ト ク と グ ラ ス ク ラ フ ト 協 会 の 人 件 費 等 の 収 入 に つ い て ど の よ
う に な っ て い る の か。

団 体 : 人 件 費 等 の 分 担、講 座 収 入 を ケ ン ト ク が 計 上 し、ケ ン ト ク か ら グ ラ ス ク ラ フ ト 協
会 に 人 件 費 等 と し て 一 定 の 金 額 を い た だ い て い る。

委 員 : 講 座 内 容 に お い て、ガ ラ ス 工 芸 以 外 の 金 属 や 木 工 の 需 要 は あ る の か。ま た、ガ ラ
ス 工 芸 の 技 法 「フ ェ ー ジ ン グ」等 に つ い て 導 入 検 討 は し て い る の か。

団 体 : イ ベ ン ト で 金 属 や 木 工 の 講 座 を 実 施 し た。ま た 外 部 講 師 を 呼 ぶ な ど 新 し い プ ロ グ
ラ ム や 技 術 も 取 り 入 れ て い る。

委 員 : 施 設 の 知 名 度 が 低 い の で は な い か。広 報 の 具 体 的 な 取 り 組 み 内 容 と、値 上 げ に よ
る サ ー ビ ス 向 上 の 為 の 具 体 的 な 取 り 組 み に つ い て も 聞 き た い。

団体：動くホームページやWEB広告を計画している。値上げによる新たなサービスはないが、現在取り組んでいる飲み物の提供やバスの配送など継続実施し、顧客の満足度を上げていきたい。

委員：値上げをするなら、市民に変わった内容をPRしてもらいたい。団体を受け入れることで市民のPRに繋がるのかは不明。まずは市民ではないか。新しい目玉となる取り組みを考えてもらいたい。

委員：ケントクとの共同から単独の申込みになった理由は何か。

団体：事務処理や建物管理運営部門と講座等の専門分野で分けていたが、提案から承認に時間がかかっていた。今後はホームページの掲載等すぐに対応できるような瞬発力が必要だと考えている。利益追求ではなく笑顔追求でいきたい。

委員：三田市にガラス工芸館がある意味はどのように考えているか。

団体：排熱を利用したプール活用や香下に文化を取り入れるために設立されたと認識している。廃ビンリサイクルなど原点に戻り、パラオのコロール州で実践したことを活かし、地域を盛り上げていきたい。

委員：危機管理について伺う。

団体：溶解炉や電気炉など危険なものがある。常にスタッフに確認を取り対策している。また消防訓練を年2回実施している。

委員：近くの避難所の場所は確認しているか。

団体：確認をする。

【三田市立図書館・応募団体からの提案】

TRC三田

【質疑】

委員：スタッフ研修する目的は何か。司書資格取得は、課題解決に繋がっているのか。司書資格は給与面で違いはあるのか。

団体：司書資格を取得していることで、知識レベルの問題を解決できていると考える。人事体制については、時給制から月給制にするなど会社全体で大きな改革を行った。司書資格有は、月額5,000円の手当を支給している。

委員：TRC三田と長谷工コミュニティと組むことについて問う。

団体：TRCファシリティーズが施設の管理面を担ってきたが、今年度で解散予定である。長谷工コミュニティとは、神戸市や明石市など他市の図書館運営においても実績があるため、お互いに信頼関係が築けている。

委員：自主事業について、認知症サポート研修などの福祉サービスは図書館の業務として必要か。自主事業収入の確保について問う。

団体：障害者への合理的配慮によるサービス拡充も必要と考えている。材料費等の実費徴収も考えている。

委員：利用者の声をどのように集めて、どのように活かしているのか。

団体：年に1回アンケート調査を行っている。非来館者アンケートも実施し図書館運営評価委員会に報告し改善に努めている。

委員：窓口での対応等は、必ず書式に残して検討してもらいたい。

委員：ボランティア連携と合理的配慮について、具体的な内容について問う。

団体：現在、図書館事業のボランティア、修理ボランティアなどで連携している。これからも継続したい。市との連携においても、生涯学習カレッジの読書クラブ等を実施している。合理的配慮については、研修の実施や障害のある方と一緒に茶話会を行い、交流を深めた。

委員：本棚等の耐震について、どのように取り組んでいるのか。

団体：本棚については、高い位置に書架を置かないことと、CDの配架において滑りにくいように斜めに設置している。修繕については、市と協議した中で進めていく。

プレゼン終了

傍聴者退出

4 評価及び指定候補者の選定について

【三田市ガラス工芸館・選定結果】

候補者：NPO法人グラスクラフト協会

【選定理由】

- ・これまでの実績に留まらず、さらなる事業収益増に取り組もうとする前向きな姿勢が評価できる。
- ・ガラス工芸を体験できる施設において団体受入許容人数が全国でもトップクラスという環境をつくりあげた実績からも、事業展開への意欲が感じられる。
- ・環境に配慮した廃ガラスのリサイクルにも取り組む提案が評価できる。
- ・情報発信、宣伝強化の具体的提案が評価できる。
- ・専門講座数の増や夜間講座の実施など多様な市民ニーズに対応できる。
- ・兵庫県の友好都市であるパラオのコロール州の要請を受け、JICAを通じて講師派遣しているなど、国際的に認められている団体である。

【選定にあたり期待する内容】

- ・現在の施設の認知度は低いと言わざるを得ない。広報活動に期待する。
- ・生活に手づくりの物を取り入れることの魅力を発信し、また、その活用方法を示すプログラムを展開されたい。
- ・市外利用者取り込みのための新しいプログラムが必要ではないか。
- ・パラオへの講師派遣の取り組みは、国際交流協会とも連携して展開されたい。

【三田市立図書館・選定結果】

候補者：TRC三田

【選定理由】

- ・全国的にも図書館管理運営の実績が豊富であり他市町での取り組み事例を三田市立図書館に活かす提案になっている。
- ・第1期の実績と同様に、新しい事業展開への意欲を感じさせる。
- ・利用者の満足度を上げることに注力した事業計画が示されている。
- ・利用者の安全性に十分配慮した管理体制が取られている。
- ・TRC三田の事業母体となる図書館流通センターは収益も高く、安定した運営が可能であると考えられる。

【選定にあたり期待する内容】

- ・他市町の取り組みを単純に持ってくるのではなく、三田市らしさを打ち出した事業展開に期待する。
- ・図書館の本来あるべき姿をどのように追及していくかが課題である。
- ・スタッフがやりがいを持って働ける職場環境を整えることにより、利用者サービスの質の向上を図られたい。
- ・スタッフのスキルアップだけでなく利用者の笑顔につながる接遇研修の強化を望む。
- ・図書館本館前の広場の有効活用を考えるべき。

【評価結果】

		三田市ガラス工芸館		
		NPO法人グラスクラフト協会		
委 員		1次審査	2次審査	合計
1 基本方針	(1)展望	19.0	18.0	37.0
	(2)観点	19.0	19.0	38.0
2 管理能力	(1)財務状況	14.0	14.0	28.0
	(2)管理実績	17.0	18.0	35.0
	(3)施設管理	19.0	16.0	35.0
	(4)職員配置	20.0	19.0	39.0
	(5)情報管理	19.0	18.0	37.0
	(6)危機管理	16.0	16.0	32.0
3 事業能力	(1)企画・運営	16.0	16.0	32.0
	(2)収支計画	17.0	15.0	32.0
	(3)自主事業	17.0	15.0	32.0
	(4)関係機関等連携	17.0	14.0	31.0
	(5)利用率	17.0	15.0	32.0
	(6)広報・宣伝	16.0	15.0	31.0
4 経費	(1)効率性	17.0	16.0	33.0
	(2)妥当性・優位性	16.0	15.0	31.0
	(3)提案額 ※	50.0	50.0	100.0
5 提案事項	(1)効果と妥当性	17.0	17.0	34.0
	(2)妥当性・優位性	16.0	15.0	31.0
計		700.0 / 1,000		

		三田市立図書館		
		TRC三田		
委 員		1次審査	2次審査	合計
1 基本方針	(1)展望	21.0	21.0	42.0
	(2)観点	20.0	20.0	40.0
2 事業能力	(1)企画・運営	20.0	18.0	38.0
	(2)収支計画	19.0	18.0	37.0
	(3)自主事業	17.0	17.0	34.0
	(4)関係機関等連携	17.0	17.0	34.0
	(5)利用率	19.0	19.0	38.0
	(6)広報・宣伝	16.0	18.0	34.0
3 管理能力	(1)財務状況	20.0	20.0	40.0
	(2)管理実績	23.0	23.0	46.0
	(3)施設管理	21.0	21.0	42.0
	(4)職員配置	21.0	20.0	41.0
	(5)情報管理	21.0	21.0	42.0
	(6)危機管理	18.0	20.0	38.0
4 経費	(1)効率性	17.0	17.0	34.0
	(2)妥当性・優位性	16.0	17.0	33.0
	(3)提案額 ※	50.0	50.0	100.0
5 提案事項	(1)効果と妥当性	19.0	19.0	38.0
	(2)改革への意欲	18.0	17.0	35.0
計		786.0 / 1,000		

※上記点数は、出席委員5名の審査合計点/出席委員5名の配点合計点である。

5 閉会
1 2時30分閉会